

2022 年度実施概要

学校名

岩美町立岩美北小学校

採択活動名

岩美町の未来をつなげ隊

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 岩美町の未来をつなげ隊	5	総合的な学習の時間
2.		
3.		

取り組みの概要

本校は「心と体を鍛え 共に学び認め合う 北っ子の育成 ～信頼する 任せる 支える～」を学校教育目標としている。また、本校のある岩美町はユネスコ世界ジオパーク山陰海岸ジオパークに認定されており、大昔から現在に至るまでの多様な地質や地形が存在地質、地形身近にある豊かな自然や文化を活かした海洋教育に力を入れて取り組んでいる。特に、海は児童にとって身近な環境であり、生活のなかにも溶け込んでいる。しかし、岩美町の宝である海が昔と比べ汚れ、生態系への影響がみられるといった課題もある。そこで、本単元では「岩美町の未来をつなげ隊」として、豊かな海をこれからも守っていくためには、どのような方法があるのか子どもたち自身で、実際に海の現状を知り、課題を見つけ、課題解決をしていくための方法を人・ものと触れ合いながら学習していく。また、SDGsとの関連を意識しながら活動を行い、持続可能な社会の担い手として学習を進めていく。

学習では、はじめにSDGsについて調べた。鳥取県SDGs推進課の方とSDGsについて学ぶ機会を設け、そのなかで岩美町の課題について一緒に考えた。そして、SDGs14番目の目標である「海の豊かさを守ろう」という視点に着目した。身近な環境である海について、今の課題を知り、これからも大切にしていきたいという子どもたちの願いでもあった。そこで、岩美町の海の課題を見つけようと、お掃除カヤックに出かけた。そこでは、たくさんの漂流物が海岸に流れてきており、その中にはプラスチックごみ、注射針、漁で使うごみなどがあった。実際に、お掃除カヤックをすることで子どもたちは課題に直面し、自分ごとのように課題を見つけることができた。そして、海の豊かさを守るために、自分たちに何ができるのか、どう海と暮らしていくのかを調べるために、海の専門家である特定非営利活動法人黒潮実感センターの神田優さんと交流した。交流のなかで、海を守ることは川や森、里を美しくしていくことが大切であることを学んだ。そこで、子どもたちは実際に、智頭に行き森林の働き、海と川、森とのつながり、木のストローづくり体験、森林探索を行った。実際に、自分たちで見て学ぶことで、海と川、森のつながりを学ぶことができた。

最後に、今まで学習したことや、これから自分たちが海の豊かさを守るためにできることなどをまとめ、全国の小学校とリモートをつなぎ発信したり、地域の方へプレゼンをしたりしながら学習の成果を伝えた。